

事業の基礎情報

事業実施地域	千葉県流山市全域（流山おおたかの森エリア、流山本町エリア、利根運河エリア）
人材育成の対象	観光事業者、松戸酒販協同組合、電動キックボードの利用者、
人材育成の手法	モビリティマネジメントの講義、交通安全ワークショップ、先進事例視察、シンポジウム開催
人材育成の内容	持続可能な地域運用モデルの知識習得、ステークホルダーにおける電動キックボードの知的アセットの向上
想定育成人数	講義（20名程度）ワークショップ（100名程度）先進事例視察（10名程度）シンポジウム（300名）

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

流山市は流山おおたかの森エリアを中心に人口増加が著しいものの、歴史的資源を持つ流山本町や自然資源が豊富な利根運河への利便性悪いため、地域の経済循環が不足していることが地域課題である。

本事業では、新しい電動キックボードの運営・管理手法を導入するなど、持続可能な新しいモビリティマネジメントを導入することにより、市内の交通利便性の向上を確保し、観光における域内経済循環を高めることを目的とする。

（事業の概要）

- ①**モビリティマネジメントの講義** 対象：観光事業者、松戸酒販協同組合、車両整備業者
内容：観光まちづくりと電動キックボードを活用した2次交通の在り方に関する講習、“持続可能な地域運用モデル”に関する講義
- ②**交通安全ワークショップ** 対象：地域の住民、観光事業者、松戸酒販協同組合、車両整備業者
内容：安全な利用方法を学習するため、実際に乗車体験を実施
- ③**電動キックボード活用方法に関する先進事例視察** 対象：観光事業者、松戸酒販協同組合、車両整備事業者
内容：京都府伊根市（駐車場不足を解消する事業展開）沖縄県宮古島市（観光利用を目的としたキックボード事業）
- ④**全国モビリティシンポジウムの開催** 対象：観光事業者、松戸酒販協同組合、車両整備業者
内容：実証事業の成果報告、まちづくりに関する基調講演、電動キックボードを活用した観光まちづくりの専門家講演

取組の詳細

(事業により見込まれる効果)

酒販組合等地域事業者からの管理運営への参加者数：10者

流山市民の電動キックボード事業に対する興味関心の向上と交通安全に対する意識向上：100者

車両整備事業者の電動キックボード事業への参加：3者

持続的なモビリティマネジメントに対する域内・域外からの興味関心：シンポジウムの参加者300者

(事業実施手順・スケジュール)

6月	モビリティマネジメント ワークショップ	観光まちづくりと電動キックボードを活用した2次交通の在り方に関する講習、“持続可能な地域運用モデル”に関する講義
7月	交通安全ワークショップ	安全な利用方法を学習するため、実際に乗車体験を実施
8月	先進事例視察	京都府伊根市（駐車場不足を解消する事業展開） 沖縄県宮古島市（観光利用を目的としたキックボード事業）
2月	シンポジウム開催	実証事業の成果報告、まちづくりに関する基調講演、 電動キックボードを活用した観光まちづくりに関する専門家講演

(補助事業実施後の予定)

本事業によって、まちづくり人材を多数育成することで、多様な事業者が協力して地域で電動キックボード事業を運営する持続的なモビリティマネジメントを実現する。

また、共創モデル実証運行事業にて、流山独自ブランドの電動キックボード事業をビジネスとして展開し採算性を確保することで、電動キックボード事業の収益の一部を、人材育成に再投資を行い、流山版電動キックボード事業をビジネスとしてスケールさせる。